

学びを振り返りながら、

自然の事物・現象を科学的に探究する学習

第2学年

(ア) 電流

こんな子どもたちの姿が生まれました！

- 学びを振り返りながら、学習に関する自己調整を行い、粘り強く探究することができました。

学習支援ツールの活用による効果①

【過去の学び（実験方法）を確認する生徒】



正しく実験ができるように、過去に学習した電流計（電圧計）の使い方を確認しています。

【過去の学び（仲間が書いたノート）を閲覧する生徒】



私は電圧が関係していると予想をして実験をしました。仲間の実験結果を見ると電流も関係していました。Aさんは前回の授業で、電流が関係していると予想をしていたので、MetaMoji ClassRoomでAさんの考えを確認しています。

クラウド（共有フォルダ）上に学びを蓄積することで、過去の学びを振り返りながら課題を解決できるようにする。

- ・実験の際には、必要に応じて、クラウド（共有フォルダ）上に保存されている実験方法などの説明動画を確認する。
- ・予想や考察の際には、必要に応じて、クラウド（共有フォルダ）上に保存されている仲間のノートを閲覧し、考えを把握する。

*本実践では、MetaMoji ClassRoomを使用した。

教師の指導のポイント

学習したことをクラウド（共有フォルダ）やタブレット等に蓄積し、必要に応じて閲覧できるようにすることで、過去の学びを振り返りながら、自然の事物・現象を科学的に探究できるようにする。

学習支援ツールの活用による効果②



私と同じで電流が関係していると予想をしていたBさんは、実験後に考えが変わっています。どうして考えが変わったのか知りたいのでBさんに話を聞いています。

モニタリング機能を用いることで、自他の考えの変容を把握できるようにする。

- ・画面に表示された画像を見て、仲間の考えの変容を把握する。
- ・考えが変容した仲間との対話を通して自らの学習を調整する。

教師の指導のポイント

予想や考察の一覧を電子黒板や大型提示装置で示す際には、文字が小さく教室後方の生徒から見えにくいことがある。考えや立場を色分けして示すなどにより、生徒に情報が伝わるようにする必要がある。